

経営学演習Ⅱ

必修 2単位

磯山 優

1. 授業の概要(ねらい)

本演習は、履修者の関心に合わせつつ、各国の企業経営を比較し論文を書く上で必要な知識を身に付けることを目指す。その際に、経営戦略と組織文化を中心に、日本を比較の基軸として設定する。秋期は、修士論文の執筆を視野に入れながら、履修者各人が関心を持つ国の企業経営の特徴について発表し、理解を深めていく。

2. 授業の到達目標

- ① 各履修者が報告を通じて、自分の研究対象とする国の企業経営と日本の企業経営に対する理解を深める。
- ② 経営戦略論や組織文化論など、論文を書く上で必要な基本的な理論的知識を身に付ける。
- ③ 論文を書き、それを報告するために必要な技術を身に付ける。

3. 成績評価の方法および基準

日頃の授業中の発表内容等を踏まえて、総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

特に指定しない。

参考文献

各人によって異なるので、指導の際適宜紹介する。

5. 準備学修の内容

毎回各人に発表してもらうので、その準備をしてくること。

6. その他履修上の注意事項

- ① 討論しながら講義を進めるので、自ら積極的に講義に参加すること。
- ② 欠席しないこと。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション。この授業の進め方についての説明し、各人のスケジュールについて確認する。
- 【第2回】 修士論文作成に向けて、各自の研究成果について報告する。
- 【第3回】 修士論文作成に向けて、各自の研究成果について報告する。
- 【第4回】 修士論文作成に向けて、各自の研究成果について報告する。
- 【第5回】 修士論文作成に向けて、各自の研究成果について報告する。
- 【第6回】 修士論文作成に向けて、各自の研究成果について報告する。
- 【第7回】 修士論文作成に向けて、各自の研究成果について報告する。
- 【第8回】 修士論文作成に向けて、各自の研究成果について報告する。
- 【第9回】 修士論文作成に向けて、各自の研究成果について報告する。
- 【第10回】 修士論文作成に向けて、各自の研究成果について報告する。
- 【第11回】 修士論文作成に向けて、各自の研究成果について報告する。
- 【第12回】 修士論文作成に向けて、各自の研究成果について報告する。
- 【第13回】 修士論文作成に向けて、各自の研究成果について報告する。
- 【第14回】 修士論文作成に向けて、各自の研究成果について報告する。
- 【第15回】 冬期・春期休業中の課題について確認する。